

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 27 年 3 月 2 日（月）（19：00～20：35）		
実施場所	高山コミュニティセンター	参加人数	9 人
参加対象	高山地区振興会		
懇談内容	<p>【1. 発言者】 当町内は東北電力との契約により、11 月から 3 月の間、毎日 2 回、それぞれ 1 時間消雪パイプの水が止まる。大雪警報が発令された時にはそういった制限を行わないようお願いしてほしい。</p> <p>【市 長】 なぜその時間帯に止まるのか聞いてみる必要がある。解決に時間がかかるかもしれないが、検討していきたい。</p> <p>【2. 発言者】</p> <p>① 消雪パイプの吹き出し方がおかしい。高校生の通学路でもあるので対応できないか。</p> <p>② 人から聞いた話で、障がいのある方が働いて得た給料を家族が預かっているようで、本人が自由に使えない状況らしい。給料は家族に渡ることがあるのか。</p> <p>【市 長】</p> <p>① ポンプ位置の変更で対応できるかもしれない。市が直さなければならぬ。すぐに担当職員を派遣する。</p> <p>② 障がいのある方が自由にお金を使えないというお話だが、いろいろな事情があるのかもしれない。もしお困りなのであれば、福祉課に相談してほしい。</p> <p>【3. 発言者】 市のバスの利用について、川西地域や中里地域は中学校単位など週末に自由に使えるようだが、旧十日町市地域の学校はレンタカーを借り上げて対応しているようだ。利用機会を平等にできるとよい。</p> <p>【市 長】 バスの台数にも限りがあるので何でもというわけにはいかないが、空いているバスを使えるように工夫していきたい。</p> <p>【4. 発言者】</p> <p>① 高山分館を復活させてほしい。高山振興会の活動と公民館というのは切っても切れない部分がある。地域からも、分館がなくなってどうやって活動していくのかという声が出ている。</p> <p>② 以前から提案しているが、自動交付機に物置台を作してほしい。特に</p>		

女性は手カバンを持っており、操作する際にカバンの置き場所がない。

【市 長】

- ① 公民館活動と地域コミュニティの活動は似ているところがある。高山分館は廃止したが、コミュニティセンターがあつて地域自治組織があれば、公民館活動を内包してやれないか。公民館がなくてもまちづくりができるということが最先端であると思う。

地域自治組織が整備されたことから、公民館の位置づけもしっかりしていきたい。事業予算の問題は別の切り口で対応できないか考えたい。

- ② 承知した。

【5. 発言者】

高山には公共の福祉施設がない。病院はあるが、病院と福祉施設は全く別のものと思っているので、何かあってもいいと思う。

【市 長】

たしかに福祉施設がなく、偏りがある。裁判所の場所を何とかできないかと考えており、医師会や休日救急等を検討している。貴重な意見に感謝する。

【6. 発言者】

シルバーの仕事で除雪に出ていたが、春日町地域は1時間しか流雪溝の水が流れない。川治川の水利権を市で早く取得できないか。

【市 長】

川治地域の流雪溝整備を始めており、今は時間を短縮して、流水できる範囲を広げようという動きである。水については根本的に解決しなければいけない問題と考えている。

【7. 発言者】

- ① オリンピックの聖火台について、ある新聞に縄文の形に斬新な色で掲載してあった。縄文土器に色を付ける検討をしてほしい。テレビで見たが列車も色を塗って、乗りたくなるようなものにしてはどうか。

- ② 子どもの遊び場がもっとあってほしいと思う。大型のトランポリンのようなものはよい。高齢者の失禁予防にもなるようだ。そのような施設をぜひ整備してもらいたい。

【市 長】

- ① 列車には確かに、色を塗ってもいいかもしれない。土器に関しては、色を付けるのも一つの手だが、光と影で見せ方を作ることを打ち出していこうと思う。

- ② 「ミオンなかさと」など、冬でも子どもが遊べる施設を考えている。長岡の千秋近くにあるような施設はよいと思う。構想はしている。